

第3号議案

令和2年度事業計画(案) (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

特定非営利活動法人
京都観光文化を考える会・都草

1 基本方針

今年、世界を根底から変えるという新型コロナウイルスの感染拡大（パンデミック）から始まり、今も緊急事態の中にある。そしてこの影響は既に都草の活動にも及んでいる。かつて経験の無い過酷な状況下であるが、都草は会員の安全を最優先しつつ、来年の都草創立15周年へ向けて、一致団結し粛々と新事業の検討や式典などの準備に取り組んでいく。

一昨年度、都草会員が400名に達した。一方では、今後、発足時からの理事メンバーの交替が、順次行われる時期を迎えている。さらに、この新型コロナウイルス感染拡大の影響による受託事業の激減もあり、それらの対策として、NPO法人としての運営体制や運営基盤の強化を待たないで進めなければならない。また、会議のクラスター対策や緊急時の会議運営の将来を見据え、オンラインで審議し決定を行う会議について、前向きに検討をしていく。

引き続き、国、京都府、京都市、京都商工会議所、地域団体、法人会員などとの連携をより深めながら、質の高い会員活動の場の充実も図っていく。

そして、京都に関しての高い見識を持つ会員の皆様のやり甲斐と、知的満足のある活動を推進する為に、調査・研究とその発信活動やさらなる新事業の展開など、内容に重点を置いた事業運営に努めていく。

NPO法人として、社会的貢献を積極的に果たす。

【主な具体案】

◎社会連携事業

- ・現在、京都御苑歴史研究会では、京都御所と京都御苑の2コースをそれぞれ120分で案内している。来期からのコース増と、案内時間の短縮（90分）を検討し、新コースを決定する。それに伴う新パンフレットを作成する。
- ・旧本館土曜講座、観桜祭観芸祭をサポートし、会員活動の場を維持する。
- ・地域の伝統行事継承支援の大船鉾ボランティア活動を継続する。
- ・京都市から要請があれば、双京構想推進事業に協力する。
- ・美化活動は、新幹部の加入で運営母体の充実に努め、奉仕先社寺の選定や行事案内の工夫等で活動参加者の増加を図る。

◎会員事業

- ・歴史探訪会は、安全確保を十分に留意しコースを設定、未参加の会員の参加を促す。歴史探訪会100回記念として、「南山城をバスで巡る」を企画開催する。
- ・研究発表会は、会員の知識向上と発表の場を提供し、会員同士のコミュニケーションを図る。京のこと語り隊講師のスキルアップの場としても活用する。
- ・文化交流会は、京都の特徴を生かした歴史・文化の事業として、衣紋道や能楽など、会員が楽しみながらより深い京都を学ぶ機会をつくる。
- ・都草 わくわく倶楽部は、文芸業務として『月刊京都』（発行：白川書院）掲載の「京都 ふしぎの玉手箱」に協力する。フィールドワークと祇園祭研究会は、より深い内容の活動実現に努めるとともに、問題作成・調査結果の社会還元化を引き続き探っていく。
- ・京のこと語り隊は、井筒八ッ橋、研究発表会等での具体的な発表の機会を設け実践する。

- ・ガイド研修部門は、引き続き現場での実践研修を行い、プロによる講演会を開催し「話す」事に関する研修会を実施する。
- ・都草 講演会は、京都府立京都学・歴彩館での年間2回開催で、参加者増が期待できる。
- ・都草のホームページや都草だよりを通して、都草の活動方針や内容をタイムリーに発信、会員にとって、都草の活動が誇らしくやり甲斐のある活動であることを再認識できるツールとする。
- ・会員台帳システムの機能をフルに活用し、会員の積極的な活動参加や活動の充実化に結び付ける。

◎受託事業：案内業務

- ・京都府庁旧本館旧知事室・正庁および旧議場、井筒八ッ橋京都まちなか案内所等の室内案内、阪急交通社・JTB・京都高齢者大学校・京都東急ホテル・単発ガイド等のツアーガイド業務は引き続き行う。都草に相応しい内容の案内依頼であれば、今後も NPO 法人として責任のもてる範囲で受託していく。

◎受託事業：講座業務

- ・14 回目を迎える都草京都通模擬試験（京都検定 1 級受験者対象）、京都新聞文化センター主催の京都検定 1 級講習会は、高い評価を受け社会的にも定着してきた。今後も受験者を支援するために活動を充実していく。
- ・大学コンソーシアム講座・ヤサカ観光講座を継続する。
- ・京都の歴史や伝統文化・行事祭事等について話をする「おでかけ講座」として、井筒八ッ橋京都まちなか案内所の四方山ばなし・京都伝統工芸大学校・京都高齢者大学校・阪急交通社「たぴコト塾」・いきいきライフ阪急阪神等の講座を継続する。
今後も、案内や講座を通じて京都の知識・魅力について発信し、さまざまな方面からの要請に可能な限り応え、会員の活動の場を充実させる。

上記の各種事業の実施に際しては、新型コロナウイルスの感染拡大の状況等に応じて、延期、中止等の措置を講ずることにより、会員及び事業参加者の感染防止に万全を期す。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所	スタッフ	対象者と予定人数
美化活動	観光地・社寺・史跡等の美化活動	年約15回	京都府内	10名	会員・一般 400名
京都御苑歴史研究会	京都御苑歴史研究会	年1～2回	未定	26名	会員・一般 60名
	京都御苑歴史散策ツアー	毎週日曜日	京都御苑・御所	26名	一般 800名
	京都御苑案内 (団体予約)	年30回程度	京都御苑	15名	一般 多数
伝統文化支援	大船鉾支援	令和2年 7月20日～24日	大船鉾	100名	一般 多数
府庁連携	京都府庁案内 (旧本館・旧議場)	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	京都府庁旧本館 京都府庁旧議場	約70名	一般 25,000名
	旧議場土曜講座	令和2年10月～令和3 年3月(毎月第3土曜)	京都府庁旧議場	8名	一般 500名

歴史探訪会	社寺・史跡等 歴史探訪会	年7回 (100回記念バス旅行含)	京都府内	35名	会員・一般 350名
研究発表 会・講演	都草研究発表会	年7回	ひと・まち交流館 京都	21名	会員・一般 250名
	都草講演会	年2回	京都府立京都学・ 歴彩館	6名	会員・一般 400名
文化交流	文化交流部会	年4回	京都府内	10名	会員 150名
研修会	研修バス旅行	年1回	未定	2名	会員・一般 50名
	ガイド研修会	年数回	現地	4名	会員 50名
	古文書連続講座	年6回	未定	2名	会員 25名
	各種研修会	年数回	未定	4名	会員 50名
都草 わくわく 倶楽部	わくわく倶楽部	年10回	京都市内	6名	会員 200名
	祇園祭研究会	年10回	京都市内	6名	会員 200名
施設内 案内業務	井筒八ッ橋案内所	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	井筒八ッ橋 まちなか案内所	10名	一般 多数
ガイド ツアー	JTBまちあるき案内	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	京都市内	約50名	一般 800名
	京都東急ホテル サンデーウォーク	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	京都市内	9名	一般 310名
	その他のガイド	不定期	京都市内	50名	一般 500名
京都検定 対策	京都通模擬試験	未定	ひと・まち交流館 京都	24名	会員・一般 150名
	京都新聞文化センター 京都検定1級対策講座	令和2年9月 (3回)	京都・東京	15名	一般 400名
	ヤサカ観光講座	令和2年6月～11月 (11回)	彌榮自動車	20名	一般 200名 会員 100名
	大学コンソーシアム京都	中止	キャンパスプラザ 京都	6名	大学生 400名
	京都駅ビル開発	未定	京都駅ビル開発(株) 会議室	4名	一般 約10名
おでかけ 講座	京都伝統工芸大学校	令和2年 5月1日～8月31日	京都伝統工芸 大学校	5名	学生 310名
	井筒八ッ橋四方山ばなし	年12回	井筒八ッ橋 まちなか案内所	13名	一般 300名
	京のこと語り隊	年数回	ひと・まち交流館 京都	4名	会員 20名
	その他の講演	年数回	各地	4名	一般 150名
受託業務	京都高齢者大学校 (講座)	年8回	京都高齢者大学校 河原町学舎	12名	一般 400名
	京都高齢者大学校 (ツアー)	月4回	京都市内	60名	一般 900名
	阪急交通社(講座) 大阪	月2回	梅田阪急 グランドビル30F	12名	一般 400名

受託業務	阪急交通社(講座) 名古屋	月1回	東進名駅ビル 5F	12名	一般 300名
	阪急交通社(講座) 東京	年6回	東日本営業本部 ホール	1名	一般 500名
	いきいきライフ阪急阪神	月3回	箕面・夙川・宝塚	12名	一般 550名
	その他の講座	年数回	未定	数名	
月刊誌	月刊京都連載	月1回		11名	